

各位

上場会社名 養命酒製造株式会社  
 代表者 代表取締役社長 塩澤 太郎  
 (コード番号 2540)  
 問合せ先責任者 取締役上席執行役員コーポレート本部長 斉藤 隆  
 (TEL 03-3462-8138)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成30年5月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成31年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,660	110	260	190	13.84
今回修正予想(B)	5,170	160	340	240	17.48
増減額(B-A)	△490	50	80	50	
増減率(%)	△8.7	45.5	30.8	26.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	5,177	69	241	166	12.16

平成31年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,030	870	1,160	810	59.00
今回修正予想(B)	11,300	590	890	620	45.15
増減額(B-A)	△730	△280	△270	△190	
増減率(%)	△6.1	△32.2	△23.3	△23.5	
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	10,655	520	829	1,615	117.68

修正の理由

(1)第2四半期累計期間の業績予想

国内における「養命酒」の売上が、第2四半期は前期実績を上回ったものの、昨年6月の改正酒税法の施行に伴う店頭販売価格上昇の影響が続いており、計画を下回る見込みとなりました。また、「酒類」の売上也計画を下回る見込みとなりました。以上のことから、売上高は、前回発表予想に対して490百万円減の5,170百万円となる見込みです。利益面につきましては、売上高減少の一方で、上半期に予定した広告宣伝費等の一部を下半期に使用することとしたため、営業利益は前回発表予想に対して50百万円増の160百万円、経常利益は80百万円増の340百万円、四半期純利益は50百万円増の240百万円となる見込みです。

(2)通期の業績予想

第2四半期累計期間の進捗状況を踏まえ、売上高は、前回発表予想に対して730百万円減の11,300百万円となる見込みです。利益面につきましては、売上高減少と上半期に予定した広告宣伝費等の一部を下半期に使用することとしたため、営業利益は280百万円減の590百万円、経常利益は270百万円減の890百万円、当期純利益は190百万円減の620百万円となる見込みです。

「養命酒」の売上は回復傾向にあり、下半期の需要期において効率的・効果的な販売促進活動を行ってまいります。「酒類」では、「フルーツとハーブのお酒」秋冬フレーバーのコンビニエンスストアでの全国展開が決定しております。「食品」では、好調に推移している「グミ×サブリ」に加え、10月1日にコンビニエンスストアを中心に全国発売したクロモジエキス配合の「養命酒製造のど飴」の販売に注力してまいります。

※上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

